

[参考資料]

地域からの要望

鳥取県議会中部議員懇談会要望

平成21年9月28日

全国植樹祭の開催地誘致について

要 旨

平成25年に、鳥取県で開催されることとなった「第64回全国植樹祭」の開催地として、琴浦町「^{せんじょうさん}船上山」を主会場に選定していただくよう、格段のご配慮をお願いしたい。

理 由

平成21年8月27日、社団法人国土緑化推進機構が第64回全国植樹祭（平成25年）の開催地を鳥取県とすることを内定した。

鳥取県では、昭和40年5月に第16回全国植樹祭が大山町で開催されて以来、第2回目の開催となる。

近年、地球温暖化防止対策や雇用の受け皿など、森林・林業への期待が大いに高まっており、鳥取県では「森林環境保全税」や「とっとり共生の森」などを活用した森林の保全・整備、雇用確保・創出に支援を行っているところであり、このような先駆的な取り組みを全国に情報発信できる全国植樹祭の開催は、誠に意義深いものがある。

また、この全国植樹祭の開催を契機に、人々の生活にとってかけがえのない財産である森林との共生を進め、健全で活力ある美しい森林づくりをより一層推進する必要がある。

その思いを共有する絶好の機会となる全国植樹祭を、後醍醐天皇ゆかりの地であり、歴史と史跡と豊かな緑が息づく琴浦町「^{せんじょうさん}船上山」において、是非とも開催していただきたい。

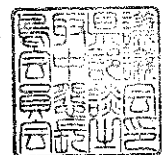
なお、地元1市4町が鳥取県での開催内定の報に接するや否や、「^{せんじょうさん}船上山」での開催誘致に向けて一致連携して取り組んでおり、決定の暁には、万全の準備をし、全国からの参加者をお迎えする意向であると伺っている。

おって、今上天皇は県内中部地域を主公務として御来県されたことがなく、この機会に県内中部地域の地方事情御視察を併せてお願いする。

平成21年 9月28日

鳥取県議会中部議員懇談会

会長 藤井 省三



中部地区行政振興協議会要望

平成21年10月13日

全国植樹祭の開催地誘致について、格別の御高配を賜りますようお願いいたします。

平成21年10月13日

中部地区行政振興協議会

会長職務代理者 松本 昭夫



中部地区行政振興協議会会員

北 栄 町 長	松 本 昭 夫
倉吉市長職務代理者	山 崎 昌 徳
倉吉市議会議長	段 塚 廣 文
倉吉市議会副議長	坂 井 徹
湯 梨 浜 町 長	宮 脇 正 道
湯梨浜長議会議長	寺 地 章 行
三 朝 町 長	吉 田 秀 光
三朝町議会議長	牧 田 武 文
北栄町議会議長	阪 本 和 俊
琴 浦 町 長	田 中 満 雄
琴浦町議会議長	福 本 宗 敏

全国植樹祭の開催地誘致についての要望

要 旨 平成 25 年に開催予定の全国植樹祭の開催地として、鳥取県琴浦町「せんじょうさん船上山」並びに「いっこうがなる一向平」等において開催していただきますよう強く要望します。

理 由 全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に天皇皇后両陛下の御臨席のもと、(社)国土緑化推進機構と開催県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事として、昭和 25 年に、山梨県で第 1 回が開催され、これ以降各都道府県の持ち回りにより毎年行われているところです。

鳥取県では、昭和 40 年 5 月に大山町で「林種転換による拡大造林」をテーマに第 16 回全国植樹祭が開催され以後 44 年が経過しております。

森林は、水源の涵養、木材の供給などの他に国土保全の観点からも不可欠な役割を持っています。私たちは、人々の生活にとってかけがえのない財産である森林を、これまで守り育ててきた先人たちの努力を思いいたし、今一層、この貴重な財産である森林との共生を進め、健全で活力ある美しい森林を未来へ引き継いでいかなければなりません。

その思いを共有する絶好の機会としての植樹祭を、「太平記」としてその行動・英知が今に伝えられる後醍醐天皇ゆかりの地、歴史と史跡の地豊かな緑が息づく森、琴浦町「船上山」並びに「一向平」等において、是非とも開催していただきますよう要望します。

なお、開催にあたり、植樹会場、式典会場、駐車場等については万全の整備が可能であり、中部1市4町がこぞって全国からの参加者をお迎えいたします。

船上山は、約 100 万年前の古期大山火山活動で形成された山で、特に比高 100m以上の屏風岩といわれる柱状摂理による絶壁は四季を通して美しい。

古来より大山寺・三徳山と並び山岳仏教が栄えた地と知られ、平安時代前期に金石寺が創建されました。

そして、建武新政前夜の元弘 3 年 2 月 28 日に後醍醐天皇は名和長年に奉ぜられ、金石寺に入られ 3 日間の合戦で北条勢を破り、その後、奥の院北側に仮宮が造宮されたと推定し、船上山に約 80 日間行在されました。山頂は船上山行宮跡(あめぐうあと)として国史跡に指定されています。町内には後醍醐天皇とゆかりのある名所旧跡が多く点在し、訪れる旅人を太平記の時代へと誘います。

関連施設として、屏風岩と千丈滝

〔千丈滝には雄(おん)滝と雌(めん)滝があります。〕

船上山行宮(あめぐう)碑

〔後醍醐天皇がこの地でたびたび野立てされたと伝えられています。〕

天皇水

〔後醍醐天皇ゆかりの清水〕

智積寺(ちしゃくじ)

〔県指定梵鐘〕

転法輪寺

〔空也上人ゆかりの地〕

また、琴浦町には、後醍醐天皇の第 2 皇子である「空也上人」(くうやしようにん)のゆかりの地でもあり、別宮地区内の「転法輪寺」には、空也上人の墓と伝えられる塚もあり塚のかたわらには、空也上人入寂の際、杖から芽が吹き、大木になったとされる大イヌグス(県の天然記念物)がありそして、境内には、幹周りが 5.45m にもなる大イチヨウ(県の天然記念物)もあります。

そして、中津原・野田地区には、大正神社のご神木と親しまれてきた古布庄の大スギ(県の天然記念物)幹周り約 7m の大木もあります。

このように、県の天然記念物となる樹木の多くは、古布庄地区一帯に存在し、古長(古布地)という村には、船上山合戦の時に士豪が白布を運び上げ旗をつくり武家の紋所を書き、立て並べ大軍が伏兵しているかのごとく船上山を攻め入る佐々木勢も怖気づいてしまったと太平記は伝えています。

合戦は、官軍勝利に終り天皇は、賞詞を与えることとなり、その時、古布庄では勅使歓迎のため、酒造りに用いる古い布二十反を集めて、つなぎ合わせた急造の大幟(おおのぼり)を立てたといえます。

天皇は、大いに喜ばれて、この地を古布地と号するようにと仰せられたので、それ以来、この村を古布地と呼び、そのあたり一帯を古布庄と呼ぶようになったと語り伝えていきます。

その一帯をさらに南に行くと一向平、大山滝、があり万能な自然を有した一向平野営場があります。

1. 琴浦町に誘致する理由

船上山は古期大山火山の活動によって噴出した溶岩流が、長い間の侵食によって削られ、得意な山容を形成したと考えられています。

船上山の断崖は有名で、溶岩の冷え固まった険しい断崖が数キロにわたって連なり、また古期大山の活動によって生じたカルデラの外輪山とする説もあります。山頂と横手道の間には屏風岩と呼ばれる岩があり、屏風岩には千丈滝(雄滝・雌滝)という滝があります。

屏風岩の南の勝田川には鱒返滝(ますがえしたき)という滝があり、その上流には一枚岩溪谷という溪谷があります。

登山道入り口には船上山万本桜公園があり、毎年4月に船上山さくら祭りが開催され、町内外から多くの人々が訪れます。公園内には、手作りのそばやうどん等の食事やお土産を提供するじげショップ「さくらの里」や、社会教育施設として多くの人々に利用されている鳥取県立船上山少年自然の家が併設されています。

また、船上山ダムとして農業用ダム(V=50万トン)があります。

近くには、平成19年度から、企業が森林の保全を支援する「とっとり共生の森」などを活用した森林の保全・整備・林業等の雇用促進と活性化を図っております。

・ 式典参加人数をどれくらいにするか。

H20からの参加者の経過、予想を勘案して10,000人と想定する。

参加者7,000人(県外1,500人、県内3,500人、スタッフ2,000人)

県民参加の地域会場を別途準備 3,000人

・ 駐車場規模	船上山駐車場	大型 100台	普通 100台
	ダム提下		普通 100台
	一向平	大型 100台	普通 100台

・ 前日レセプション会場からのアクセス (60分以内)

東郷、羽合、三朝、倉吉

・ 県外参加者の宿泊施設からのアクセス。

東郷、羽合、三朝、倉吉、皆生

・ 植樹会場

船上山 or 一向平

・ 式典会場

船上山 or 一向平

・ 荒天会場

東伯総合体育館(東伯総合運動公園内)

鳥取県西部地域振興協議会要望

平成21年11月2日

要 望 書

全国植樹祭の開催地誘致について

昭和25年から全国の都道府県を開催地に全国植樹祭が開催されていますが、来る平成25年には、鳥取県で第2回目の「第64回全国植樹祭」が開催されることと聞き及んでおります。

つきましては、この全国植樹祭の開催地として、鳥取県南部町にあります「とっとり花回廊」を会場に開催していただきますよう要望いたします。

開催地としては、下記のとおり西部住民の思いをはじめ、経済への波及効果・式典会場・植樹会場・駐車場等々数多くの利点があります。

開催に際しては、西部市町村一丸となって全国からの参加者の皆様を温かくお迎えいたしたいと思っております。

記

○ 先人への思いを共有

鳥取県では、昭和40年5月に大山町で第16回全国植樹祭が開催されています。

「とっとり花回廊」は、その雄大な秀峰大山を一望できる位置に立地しています。

この地で、「全国植樹祭」を開催すれば、水源の涵養・木材の供給・国土保全など人々の生活にとってかけがえのない財産である森林を、これまで守り育ててきた先人たちの努力におもいを馳せ、健全で活力ある美しい森林を未来へ引き継ぐ決意を、全国から集まった多くの人々とともに共有することが出来ます。

○ 観光等経済への大きな波及効果

「とっとり花回廊」は、日本有数の花のテーマパークとして、平成11年4月に開園し、今年3月には500万人の入場者数を突破しました。

国内に自生している野生ユリ15種全てを植栽しているのは国内ではここだけで、初夏から夏にかけて美しい姿を見せてくれます。

「全国植樹祭」の開催により、県外から多くの参加者が見込まれることから、「とっとり花回廊」でのおもてなしは、開催後も観光等経済への大きな波及効果が期待できます。

○ 式典会場の立地、利便性

「とっとり花回廊」では、平成15年10月、高円宮妃殿下をお迎えし ジャパンフラワーフェスティバルを開催しました。

このときの入場者数は、3日間で5万9千人でしたが、米子市皆生温泉等の宿泊地からのアクセスも良く、施設をフルに活用しおもてなしを行うことができました。最近でも数千人規模のコンサート等実績が豊富です。

この様に、十分な広さのある駐車場等を活用すれば、「全国植樹祭」式典用施設の設置や、運営面でも円滑に行うことが可能です。

○ 隣接地に植樹会場を確保

「とっとり花回廊」に隣接した県有地は、残念ながらマツ食い虫の被害跡地となっており人の手が入っていません。

全国どこにでもある荒廃した森林を、「全国植樹祭」参加者の手を借りて、里山再生モデルとして整備してはどうか。

里山に自生する樹種の植栽に協力し、自らの手で森林再生の一助と出来れば、「植樹の祭典」として、これほどのアピールはないと考えます。

平成21年11月2日

鳥取県知事 平井伸治様

鳥取県西部地域振興協議会

会長 米子市長 野坂康夫



鳥取県西部地域振興協議会

会 長	米子市長	野 坂 康 夫
副会長	境港市長	中 村 勝 治
副会長	日吉津村長	石 操
会 員	伯耆町長	森 安 保
会 員	大山町長	森 田 増 範
会 員	南部町長	坂 本 昭 文
会 員	日南町長	矢 田 治 美
会 員	日野町長	景 山 享 弘
会 員	江府町長	竹 内 敏 朗

鳥取県西部町村会要望

平成21年11月2日

全国植樹祭の開催地誘致についての要望

昭和25年から全国の都道府県を開催地に全国植樹祭が開催されていますが、来る平成25年には、鳥取県で第2回目の「第64回全国植樹祭」が開催されることと聞き及んでおります。

つきましては、この全国植樹祭の開催地として、鳥取県南部町にあります「とっとり花回廊」を会場に開催していただきますよう要望いたします。

開催地としては、下記のとおり西部住民の思いをはじめ、経済への波及効果・式典会場・植樹会場・駐車場等々数多くの利点があります。

開催に際しては、西部市町村一丸となって全国からの参加者の皆様を温かくお迎えいたしたいと思っております。

記

○ 先人への思いを共有

鳥取県では、昭和40年5月に大山町で第16回全国植樹祭が開催されています。

「とっとり花回廊」は、その雄大な秀峰大山を一望できる位置に立地しています。

この地で、「全国植樹祭」を開催すれば、水源の涵養・木材の供給・国土保全など人々の生活にとってかけがえのない財産である森林をこれまで守り育ててきた先人たちの努力におもいを馳せ、健全で活力ある美しい森林を未来へ引き継ぐ決意を、全国から集まった多くの人々とともに共有することが出来ます。

○ 観光等経済への大きな波及効果

「とっとり花回廊」は、日本有数の花のテーマパークとして、平成11年4月に開園し、今年3月には500万人の入場者数を突破しました。

国内に自生している野生ユリ15種全てを植栽しているのは国内ではここだけで、初夏から夏にかけて美しい姿を見せてくれます。

「全国植樹祭」の開催により、県外から多くの参加者が見込まれることから、「とっとり花回廊」でのおもてなしは、開催後も観光等経済への大きな波及効果が期待できます。

○ 式典会場の立地、利便性

「とっとり花回廊」では、平成15年10月、高円宮妃殿下をお迎えしジャパンフラワーフェスティバルを開催しました。

このときの入場者数は、3日間で5万9千人でしたが、米子市皆生温泉等の宿泊地からのアクセスも良く、施設をフルに活用しおもてなしを行うことができました。最近でも数千人規模のコンサート等実績が豊富です。

この様に、十分な広さのある駐車場等を活用すれば、「全国植樹祭」式典用施設の設置や、運営面でも円滑に行うことが可能です。

○ 隣接地に植樹会場を確保

「とっとり花回廊」に隣接した県有地は、残念ながらマツ食い虫の被害跡地となっており人の手が入っていません。

全国どこにでもある荒廃した森林を、「全国植樹祭」参加者の手を借りて、里山再生モデルとして整備してはどうでしょうか。

里山に自生する樹種の植栽に協力し、自らの手で森林再生の一助と出来れば、「植樹の祭典」として、これほどのアピールはないと考えます。

平成21年11月2日

鳥取県西部町村会

会 長 石 操



日南町長 矢田治美

日野町長 景山享弘

江府町長 竹内敏朗

日吉津村長 石 操

大山町長 森田増範

南部町長 坂本昭文

伯耆町長 森安保

大山町観光協会大山観光局

及び

大山旅館組合要望

平成21年11月4日

鳥取県知事 平井 伸治 様

第 64 回全国植樹祭の開催誘致に関する要望書

日頃から、大山地区の活性化に御支援、御尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全国植樹祭につきましては、すでに鳥取県準備委員会が開催されており、間もなく県内での開催候補地の選定に進む予定と聞いてます。

ここ大山地区におきましては、昭和 40 年 5 月に国立公園大山の麓で盛大に開催されております。開催地の周辺道は“天皇道路”の愛称で、今も多くの人に親しまれ、観光振興の大きな力となっており、再び、西部地域での開催が実現すればこの上ない慶びであると大きな期待を持っております。

標記植樹祭の開催候補地としては、鳥取県西部地域には、「とっとり花回廊」という日本有数の花のテーマパークがあり、周辺自然環境や宿泊施設など、開催に向けた諸条件が整っていることなどから、この地域が最も植樹祭の開催地にふさわしいものと思われまます。

標記植樹祭がこの地域で開催されることとなれば、県内外から多くのお客様をお迎えすることとなり、大山地区はもとより広く県西部地域の経済に大きな波及効果が期待されます。

つきましては、標記全国植樹祭の開催地として、是非とも西部地域を選定していただきますようお願い申し上げます。

平成 21 年 11 月 4 日

大山町観光協会大山観光局 会長 足立 敏 雄

大山旅館組合 組合長 山 根 均